

本校では、毎年夏休みの期間に各教科の教員が分担して名古屋大学の入試問題を分析しています。その中で、今年度はずいぶんユニークな出題がありました。日本史の問題ですが、右の写真を見て、「当時の貨幣がどのような工程で作られたのかを述べよ。」という問題です。このような写真の説明は、教科書にも載っていないので多くの受験生が戸惑ったことでしょう。しかし、落ち着いて考えてみれば、貨幣らしきものがつながっている様子から、1枚1枚の貨幣を別々に作ったのではなく何枚かの貨幣を同時に作ったこと。溶かした金属を型に流し込んで作ったことなどが想像されます。おそらく、そういう答えを書けば得点できたと思われます。



高大接続改革の動き中で、高等学校には知識を注入する従来型の授業から、生徒自らが考え学ぶアクティブラーニング型の授業への転換が求められています。この問題は、そうした動きを先取りする問題のように思われました。『覚えたことを間違いなく解答用紙に再現するのではなく、自分もつまぎまな知識を用いて、「一つに決められないない答え」を導き出す』ことが求められる出題であると感じられたのです。おそらく、これからはこういうタイプの出題が増えてくることも予想されます。そして、そのような問題に対応するためには、柔軟に考えることや自信がなくても何か答えを書く勇気が必要です。日本の高校生は、正解できる自信がある問題には強いが、自信がない問題には全く答えが書けないという問題点が、しばしば指摘されます。そして、そのような弱点を克服するために、高校や大学での学びの在り方が変わろうとしているのです。

私たちは、変化の激しい時代を生きています。10年前には価値があったが、現在では全く価値を失ってしまっていることも多くあります。おそらく、現在見るできないことが5年後には当たり前になっていることもあるでしょう。その一方で、今までも、これからも変わらぬ価値をもちつづけることもあるはずで。言い古された言葉ではありますが、改めて「不易と流行」について考えてみたいものです。

1月までの主な進路行事

- 「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。
- 10/3 (月・大安) センター試験出願(学校一括)
 - 10/4 (火) 5(水) 6(木) PTA学年懇談会(1年・2年・3年)
 - 10/15 (土) 3年 模試(駿台ベネッセ共催記述)
 - 10/22 (土) 3年 模試(全統記述)
 - 10/27 (木) 28(金) 各学年実力テスト
 - 10/29 (土) 30(日) 1年 模試(10/29(土)のみ進研記述3教科)
2年 模試(進研記述5教科)、3年 西三テスト(全統マーク5教科)
 - 11/2 (水) 2・3年 豊西総合大学講座(16講座)(10/25(火)事前学習、11/18(金)発表会)
 - 11/5 (土) 東大京大志望者対象親子進学講演会
 - 11月 3年 東大・京大・名大オープン模試・実戦模試(公開会場)
 - 12/3 (土) 3年 模試(駿台記述:希望者のみ)
 - 12/4 (日) 3年 センタープレテスト(愛工大(予定)実戦形式模試)
 - 12/5 (月)~16(金) 3年 保護者懇談会
 - 12/24(土)~27(火) 2年 学習合宿(希望者、伊良湖シーパーク&スパ)
 - 12/29(木) 30(金) 3年 校内実施模試(駿台 青パック)
 - 1/2(月) 3(火) 3年 校内実施模試(河合 Kパック)
 - 1/10(火)~11(水) 1・2年 実力テスト
 - 1/14(土) 15(日) 3年 センター試験、
 - 1/21(土) 22(日) 1年 模試(1/21(土)のみ進研記述3教科)
2年 西三テスト(進研記述5教科)



土屋研究室での体験

1年生

<朝補習・土曜セミナー>

豊田西高校の2学期は「学習の2学期」です。9月9日（金）から、水曜日と金曜日の早朝に朝補習が始まりました。9月10日（土）からは、土曜セミナーも始まりました。どちらも、国数英の演習を行います。事前に予習をし、疑問点を明らかにしてから参加してもらいたいです。演習を通して普段学習をした内容が定着しているかも確認ができます。その日のうちに復習して力を蓄えましょう！

<東大訪問研修をおこないました>

1年生23名・2年生14名で8月29日（月）に東京大学駒場キャンパスを訪問しました。午前中は、本校卒業生を含む東大の学生さんから、高校時代の学習方法や高い進路目標を設定することの大切さを学びました。午後は、土屋研究室を訪問してナノ単位の小さな製品を加工する技術を開発する研究について学びました。実際に小さなものを扱う機械を操作させていただき、その凄さを実感してきました。また、土屋先生の講義では、「がんばって勉強して、この研究室に来てください」という激励の言葉もいただきました。

<文理選択が進んでいます>

現在「文理選択」が進んでいます。学年の教員同士がさまざまな角度からの情報を交換し、担任面談を通してお子さまに指導・助言をしています。お子さまを通じて、その内容を御確認ください。74回生については、例年にも増して理型を希望する生徒が多く、SSHらしさを実感しています。しかし、理型を選択すれば、数学や理科では現在学んでいる内容とは比較にならないくらい高度な内容を扱います。3年生になってから難しくついていけない、または、他の科目に手が回らないということがないように気をつけなければなりません。過去の卒業生を見ると、特に、医療系や栄養系を希望する女子の生徒が苦しみ例が多いです。理型クラスに在籍すれば、理科・数学については、理学・工学などの純粋な理型の生徒と同じ水準を要求されます。進路希望はもちろんですが、自分の得意・不得意も考慮して考える必要があります。

御家庭におかれましても、今回の文理選択を契機として、学習習慣や進路目標を、もう一度見直す機会とさせていただきたいと思います。

2年生

<進路SLで大学訪問発表を行いました>

9月5日（月）の進路SLで、夏休み中に訪問した大学についての発表を行いました。クラスごとにグループに分かれ、各自が自分の志望に基づいて訪問した、全国の様々な大学の報告をしてきました。大学ごとに施設や立地環境、学習する内容などに大きな違いがあることを知り、またクラスの友人の発表に刺激を受けることができました。自分の学びたいことを存分に吸収でき、4年間を有意義に過ごすことのできる大学を早く見つけ、目標設定をしてもらいたいものです。



真剣に討論しました。

<修学旅行へ行ってきました>

主体的な学びや、周囲に配慮した行動をテーマとした修学旅行で、73回生の絆をより一層深めることができたと感じています。今年度は、新たな取り組みとして「平和討論会」を実施しました。事前に核保有国や被爆国について1人1国を調べ、当日はロールプレイの形式で討論を行いました。明確な答えの出ない「核」の問題に対し、各国の立場を踏まえた上で解決策を懸命に考え、思考を深めることができました。萩では班別に事前で立てた計画に基づいて、世界遺産の松陰神社を始めとする史跡を巡り、城下町の情緒を感じることができました。

<文理別集会を行いました>

修学旅行後の9月20日（火）に、文理別集会を行い、科目選択の注意点や今後の学習の進め方について説明をしました。私たちの願いは、生徒諸君の可能性が最大限に実現されることです。1年後の自分を過小評価することなく、目標設定をしてもらいたいと思います。そして、修学旅行から早く気持ちを切り替えた上で、「学習の2学期」を飛躍の機会とし、来たる「3年ゼロ学期（2年3学期）」に向けて、学習合宿にも積極的に参加してもらいたいと思います。

3年生

<業後自習教室、今年は7月から前倒しで実施！>

例年は2学期初日から始まる業後自習教室、72回生の学習意欲に押され、今年は7月の期末検査後から前倒しで始まりました。学習に取り組む姿勢も日に日に真剣さが増してきており、自習教室にも毎日たくさんの生徒が残って勉強に励んでいます。また、夏休み中の補習も例年と比べて1.5倍以上の量を実施し、英語・数学では習熟度別クラスも取り入れました。夏休みに実施された模試の結果を見ますと、その成果も着実に表れています。今後の伸びが楽しみです。それぞれの進路目標に向かって上手に自習教室を活用し、ぜひ合格を勝ち取ってください。

<センター試験の出願をしました>

まだ入試まで日があるように思いますが、早々とセンター試験への出願が行われました。出願書類を書くことで、入試が近づいていることを実感できたのではないのでしょうか。試験日は1月14日（土）、15日（日）です。まだ時間は残されています。伸びしろが大きい苦手教科を克服することから始め、効率よく勉強していきましょう。

<冬季登校学習を行います>

年末年始は家も街中も慌ただしく、なかなか落ち着いて勉強する環境が作れませんよね。そこで本校では、冬期休業中も教室を開放し、本番直前まで集中力や緊張感を保ちながら勉強できる環境を提供します。とくに、12月29、30日と1月2、3日の自己採点模試は西高名物です。先輩方もこの年末年始を乗り切って、志望校合格を手に入れてきました。72回生が一丸となって、志望校に向かって勇往邁進していきましょう。